

グローバル担保付き債券ファンド(為替ヘッジあり)

<愛称 たんぽポンド>

追加型投信/内外/債券

交付運用報告書

第12期(決算日2024年12月16日)

作成対象期間(2024年6月18日~2024年12月16日)

第12期末(2024年12月16日)	
基準価額	8,716円
純資産総額	849百万円
第12期	
騰落率	1.2%
分配金(税込み)合計	15円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル担保付き債券ファンド(為替ヘッジあり)」は、2024年12月16日に第12期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、マザーファンド受益証券に分散投資を行ない、日本を含む世界各国の金融機関が保有する貸付債権を担保とする債券などに実質的に投資を行なうことで、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<644633>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。社名変更後URL: www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

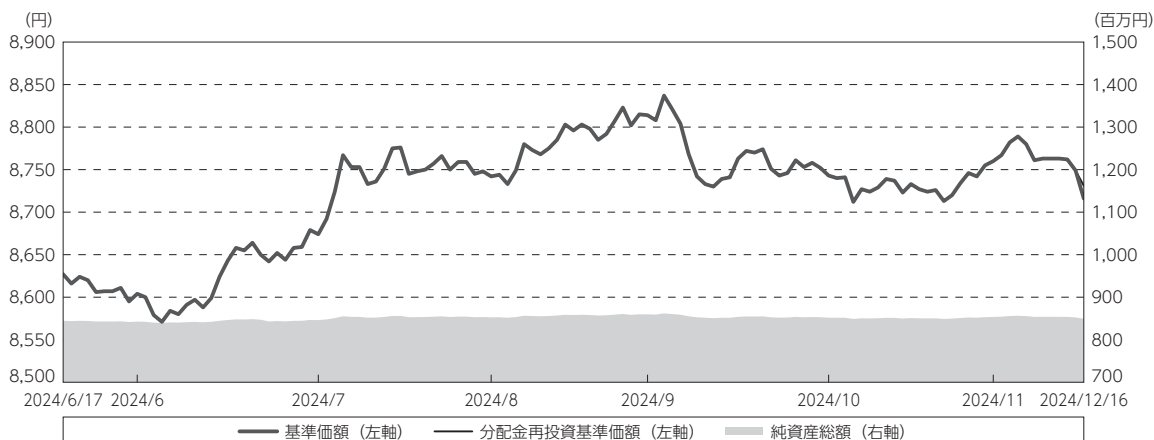
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年6月18日～2024年12月16日）



期首：8,627円

期末：8,716円（既払分配金（税込み）：15円）

騰落率：1.2%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年6月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「住宅金融支援機構債券マザーファンド」「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」「スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド」の各受益証券に分散投資を行ない、実質的に日本を含む世界各国の金融機関が保有する貸付債権を担保とする債券に投資を行なうことで、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。各投資対象先における当作成期間中の騰落率は下記の通りとなりました。

投資対象先ファンド	組入比率	当作成期間中の騰落率
住宅金融支援機構債券マザーファンド	33.1%	△0.6%
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	32.9%	3.7%
スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド	32.7%	1.1%

当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からインカム収入を得たこと。
- ・スウェーデン、デンマークで投資している債券の利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

- ・日銀による国債購入の減額や追加利上げが意識されたこと。
- ・金利のボラティリティ（変動性）が高まったこと。

1 万口当たりの費用明細

（2024年6月18日～2024年12月16日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	14 円	0.159 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 8 ）	（ 0.088 ）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 5 ）	（ 0.055 ）	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 1 ）	（ 0.016 ）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.113	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 6 ）	（ 0.066 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.002 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	（ 4 ）	（ 0.048 ）	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
（ そ の 他 ）	（△ 0）	（△0.003）	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	24	0.272	
期中の平均基準価額は、8,722円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

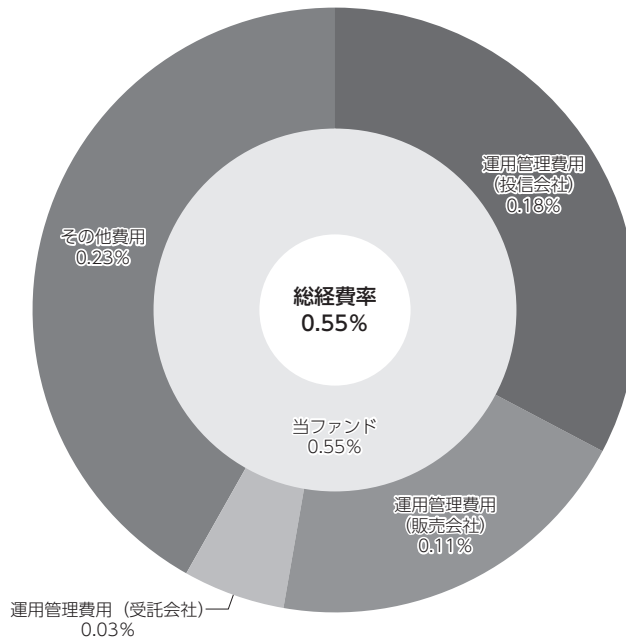
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年12月16日～2024年12月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年12月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年12月16日 決算日	2020年12月15日 決算日	2021年12月15日 決算日	2022年12月15日 決算日	2023年12月15日 決算日	2024年12月16日 決算日
基準価額 (円)	10,120	10,279	10,004	8,852	8,708	8,716
期間分配金合計(税込み) (円)	—	30	30	30	30	30
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.9	△ 2.4	△ 11.2	△ 1.3	0.4
純資産総額 (百万円)	1,893	1,803	1,439	1,122	858	849

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2024年6月18日～2024年12月16日）

（国内債券市況）

国内債券市場において、10年国債利回りは期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）しました。

期間の初めから2024年7月上旬にかけては、円安／アメリカドル高が進行するなか日銀による国債購入の減額や追加利上げが意識されたことなどから、10年国債利回りは上昇しました。7月中旬から9月下旬にかけては、日銀が金融政策決定会合で利上げを決定したことが利回りの上昇要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（F R B）が米国連邦公開市場委員会（F O M C）で大幅な利下げに踏み切ったことや、日銀総裁の記者会見を受けて早期の追加利上げ観測が後退したことなどから、10年国債利回りは低下しました。10月上旬から期間末にかけては、米国の雇用情勢の底堅さを受けてF R Bの追加の利下げ観測が後退したことや、衆議院選挙における与党の過半数割れを受けて、財政拡張的な政策が打ち出されるとの思惑、2024年7－9月期の国内総生産（G D P）速報値や生鮮食品を除く東京都区部の消費者物価指数（C P I）が市場予想を上回り、日銀の追加利上げを後押しするとの見方を強めたことなどから、10年国債利回りは上昇しました。

R M B S（住宅ローン担保証券）市場では国債に対するスプレッド（利回り格差）は総じて安定した推移となりました。

（デンマーク債券市況）

期間中は、様々な経済的・地政学的要因を受けて利回りが大きく変動し、投資家心理に影響を与えました。

欧州中央銀行（E C B）は、ユーロ圏で経済活動が悪化していることやインフレが抑制されていることを受けて金融政策の緩和を開始し、2024年6月、9月、10月、12月に0.25%の利下げを行ないました。期間中のドイツ国債10年物の指標銘柄の利回りは、2.4%から0.2%低下して2.2%となりました。米国では2024年第1四半期にディスインフレの傾向が後退したのち、第2四半期に再び見受けられるようになりました。また、第1四半期のG D P成長率は、下方修正されました。その後、7月の失業率が4.3%近辺に達すると、F R Bの高官たちがハト派（金融緩和的な政策を支持）的な姿勢を徐々に強めた結果、市場では年内に4回の利下げが織り込まれました。F R Bは、9月に0.50%の利下げを実施し、11月の大統領選挙後に0.25%の追加利下げを行なうなど、他の先進国中央銀行の金融政策正常化の動きに追随しました。市場参加者がF R Bのハト派的な政策姿勢を織り込み始め、より「ソフトランディング（軟着陸）」シナリオに沿った見方となるなか、グローバル・クレジット商品のパフォーマンスは下支えされました。

期間中のNykredit Totalインデックスは、国債に対するオプション調整後スプレッドが拡大するなか、トータルリターンが5.3%となりました。また、期間中のNykreditインデックスのデュレーション（金利感応度）は0.41年短期化して5.34年となりました。

（スウェーデン債券市況）

期間中は、様々な経済的・地政学的要因を受けて利回りが大きく変動し、投資家心理に影響を与えました。

主要中央銀行が物価目標達成に向けて政策金利がすでに十分に引き締め的な水準にあるとの認識を示

し、政策金利の正常化を開始して債券利回りが世界的に低下するなか、期間中のスウェーデンのモーゲージ市場は回復しました。

スウェーデンでは、直近の一連の購買担当者景気指数（PMI）が景気拡大を示唆する領域を維持するなど、経済指標では活動の堅調さが引き続き示されています。2024年11月の製造業PMIは53.8となり、またサービス指数は50.9と力強さを維持しています。高インフレの時期が終わり、総合消費者物価指数（CPIF）は2022～2023年にかけての10%台から2024年9月は前年同月比1.1に低下しました。期間中の債券市場は世界的な傾向と同じような動きを見せ、イールドカーブ（利回り曲線）がブル・スティープ化しました。

5年物のスウェーデン・モーゲージ債市場のパフォーマンスは、モーゲージ金利が総じて低下するなか、現地通貨ベースで2.9%のプラス・リターンとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年6月18日～2024年12月16日）

（当ファンド）

当ファンドは、「住宅金融支援機構債券マザーファンド」「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」「スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド」の各受益証券に分散投資を行ない、合計組入比率を高位に組み入れて運用を行ないました。

（住宅金融支援機構債券マザーファンド）

主として独立行政法人住宅金融支援機構が発行する貸付債権担保住宅金融支援機構債券（以下、旧住宅金融公庫発行の貸付債権担保住宅金融公庫債券も含めて、「機構債」といいます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

（デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3）

全体的なバリュエーション（価値評価）水準に留意しつつ、足元で大幅なリスクプレミアムがモーゲージ債に織り込まれていることを受けて、期限前償還分を再投資するとともにデュレーションをやや長めに維持しました。

（スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド）

新しい5年物指標銘柄への移行に注目しながら、LTV比率（担保物件の評価額に対するローンの比率）が低く資本比率と超過担保の水準が高い住宅ローン担保物の発行体の銘柄の組入比率を高く維持しました。

デュレーションについては、対ベンチマークで比較的ニュートラルなポジションを維持していますが、イールドカーブ形状の見通しとスウェーデン・モーゲージ債の長期物が提供するキャリーの上乗せとの兼ね合いに基づいて、ある程度柔軟に対応していく方針です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年6月18日～2024年12月16日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2024年6月18日～2024年12月16日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2024年6月18日～ 2024年12月16日
当期分配金	15
(対基準価額比率)	0.172%
当期の収益	15
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	492

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「住宅金融支援機構債券マザーファンド」「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」「スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド」の各受益証券に分散投資を行ない、合計組入比率を高位に組み入れて運用を行ないます。

（住宅金融支援機構債券マザーファンド）

引き続き、主として機構債に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオの構築にあたっては、流動性や銘柄分散も考慮してポートフォリオ全体のリスク管理に努めます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3）

元利金収入を再投資するとともに、ポートフォリオ全体のデュレーション・ポジションを維持していく方針です。リスクが高まる場合は、ポジションを小幅に調整してニュートラルとする方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド）

元利金収入を再投資するとともに、ポートフォリオ全体のデュレーション・ポジションを維持していく方針です。イールドカーブの形状が変化する場合や、スウェーデンの中央銀行の利上げペースに対する当ファンドの見方を変更する場合は、ポジションを変更する考えです。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2024年6月18日から2024年12月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

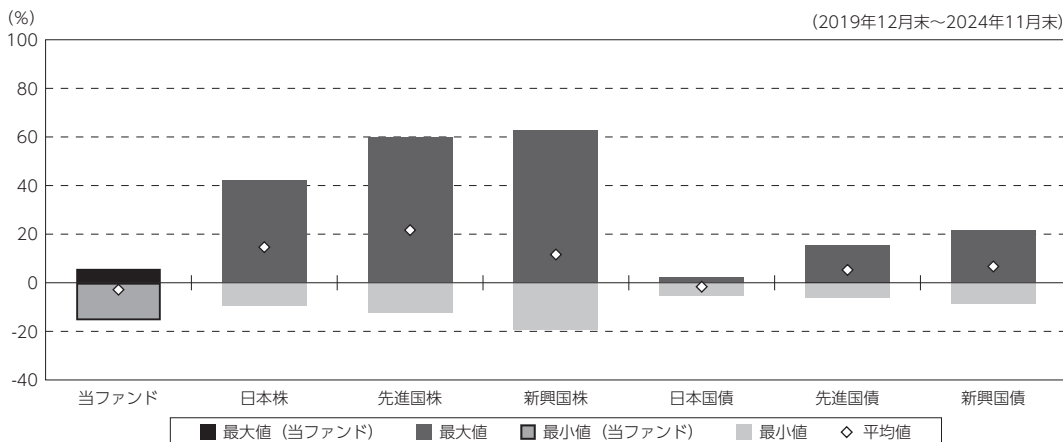
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社へ社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2019年3月15日から2029年6月15日までです。	
運用方針	主として、投資信託の受益証券に分散投資を行ない、実質的に日本を含む世界各国の金融機関が保有する貸付債権を担保とする債券に投資を行なうことで、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル担保付き債券ファンド（為替ヘッジあり）	投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
	住宅金融支援機構債券マザーファンド	独立行政法人住宅金融支援機構が発行する貸付債権担保住宅金融支援機構債券を主要投資対象とします。
	デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	デンマークのカバードボンドを主要投資対象とします。
	スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド	スウェーデンのカバードボンドを主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、マザーファンド受益証券に分散投資を行ない、日本を含む世界各国の金融機関が保有する貸付債権を担保とする債券などに実質的に投資を行なうことで、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。各マザーファンド受益証券の合計組入比率は、高位を保つことを原則とします。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	5.7	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 15.5	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 2.8	14.6	21.6	11.6	△ 1.6	5.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年12月から2024年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年12月16日現在)

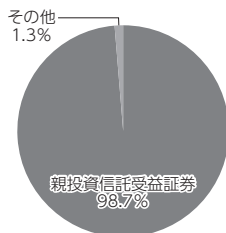
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第12期末
	%
住宅金融支援機構債券マザーファンド	33.1
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	32.9
スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド	32.7
組入銘柄数	3銘柄

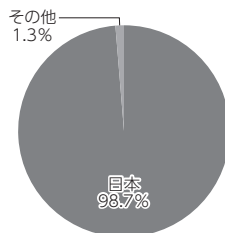
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

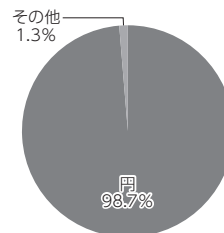
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第12期末
	2024年12月16日
純 資 産 総 額	849,292,613円
受 益 権 総 口 数	974,390,577口
1万口当たり基準価額	8,716円

(注) 期中における追加設定元本額は290,295円、同解約元本額は4,902,002円です。

組入上位ファンドの概要

住宅金融支援機構債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年12月16日～2024年12月16日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年12月16日～2024年12月16日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月16日現在)

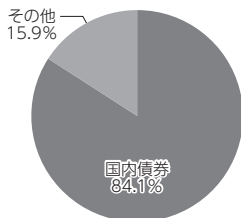
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	第140回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	特殊債券	円	日本	22.8
2	第125回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	特殊債券	円	日本	21.6
3	第116回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	特殊債券	円	日本	21.3
4	第106回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	特殊債券	円	日本	18.4
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			4銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

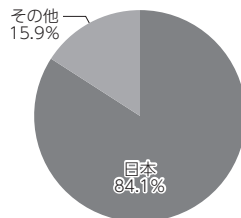
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

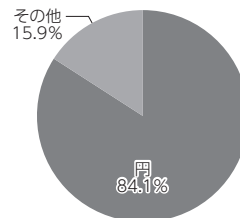
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

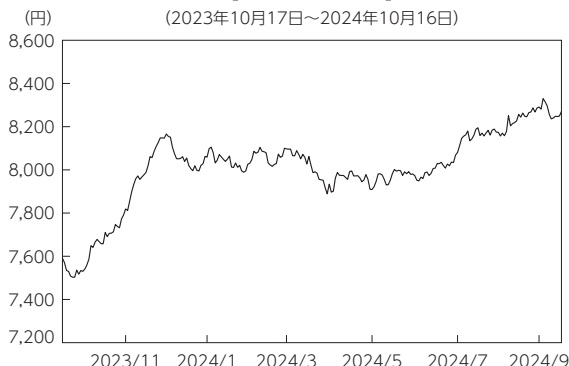
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年10月17日～2024年10月16日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	4	0.049
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.049)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	4	0.049

期中の平均基準価額は、8,001円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年10月16日現在)

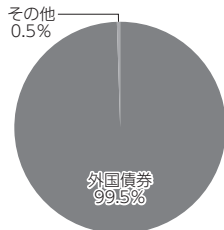
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1 NYKREDIT REALKREDIT AS 1.5% 2050/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	11.1%
2 NYKREDIT REALKREDIT AS 2% 2047/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	11.0%
3 REALKREDIT DANMARK 1% 2053/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	9.7%
4 NORDEA KREDIT REALKREDIT 5% 2053/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	9.6%
5 NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.5% 2050/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	8.0%
6 REALKREDIT DANMARK 1.5% 2050/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	7.5%
7 JYSKE REALKREDIT A/S 5% 2056/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	7.2%
8 NORDEA KREDIT REALKREDIT 2% 2047/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	6.6%
9 JYSKE REALKREDIT A/S 1% 2050/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	5.2%
10 REALKREDIT DANMARK 1% 2050/10/1	普通社債券	デンマーククローネ	デンマーク	4.1%
組入銘柄数	20銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

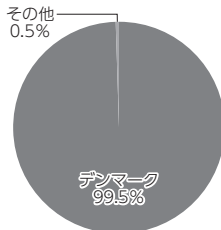
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

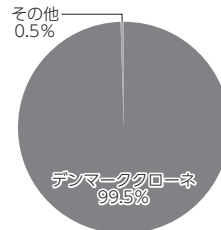
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

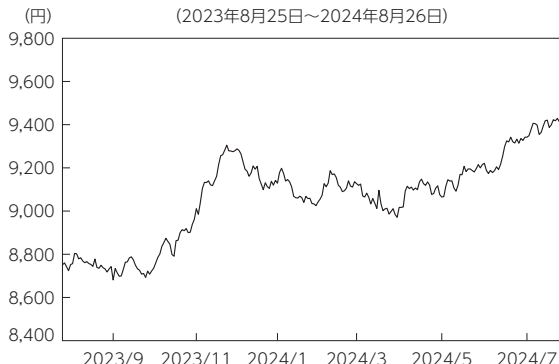
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

スウェーデン・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年8月25日～2024年8月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	16 (16)	0.179 (0.179)
合 計	16	0.179

期中の平均基準価額は、9,034円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年8月26日現在)

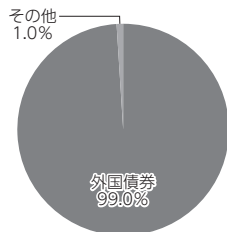
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	STADSHYPOTEK AB 2% 2028/9/1	普通社債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	29.3
2	LANSFORSKRINGAR HYPOTEK 3.75% 2030/9/30	普通社債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	21.2
3	SKANDINAVISKA ENSKILDA 1% 2029/12/19	普通社債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	18.4
4	SWEDISH COVERED BOND 0.75% 2032/6/9	普通社債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	17.3
5	SWEDISH COVERED BOND 1% 2030/6/12	普通社債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	9.1
6	LANSFORSKRINGAR HYPOTEK 0.5% 2028/9/20	普通社債券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	3.7
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
	組入銘柄数		6銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

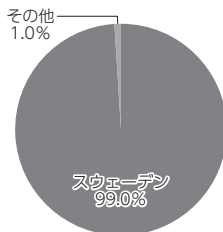
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

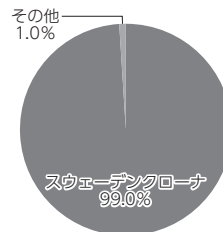
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。